



My Photo Corner
この景色は何処でしょうか?

そして妙に鮮明に映っています。が、なぜなのかこの写真に見覚えのある方はいらつしゃいますか。

※先月号の「私は誰でしょう?」は藤井銀次郎 Ys のウン年前の写真です。

HAPPY BIRTHDAY 該当者ございません
MENETTES HAPPY BIRTHDAY
 8月19日 宝田 淑子さん
WEDDING ANNIVERSARY
 8月25日 藤曲 敬宏君 高 敬淑さん

熱海YMCA俳句 七月例会 兼題なし

梅雨あけや木漏れ日の先窓開く
 ランドセルいっぱい詰め込む夏休み
 日盛りの外人ばかり店の中
 山崩れ家に土入る暑さかな
 山車の灯の遠く近くに夏深し
 はなれ娘へ切手貼り足す蝉の声
 半月を攫ひてゆくや夏の雲

のり夫 隆吉
 道子 銀次郎
 正子 治
 和子

第2回 役員会報告

書記 宝田昌孝
 2018年8月2日(木) 熱海 YMCA センター
 勝又会長挨拶:
 初例会ご苦勞様でした。
 来賓、ビジター合わせて40名の出席を頂き良い例会
 なり、有難うございました。

議題:
 1 例会の件:納涼例会は、ラスカ熱海の屋上で、バーベ
 キュー例会を行う。
 2 その他:富士山部評議会の議題として、
 部長が、メネット会の連絡をしているのです
 が、メネット委員会の設置の提案が有り、
 継続審議となる。

2017年度決算報告.....承認

*委員会報告
 プログラム: 議題の通り

ドライバー:例会の出欠は8月20日までに必着

会報・広報:校正 8月14日(火)19時、発送15日(水)

親 睦:議題の通り

CS・TOF:センター清掃は涼しくなるまで延期

YMCA・ASF・EMC・会則:特に無し
 BF・EF・IBC・DBC・YEPP:国際大会韓国麗水市で、
 8月9日~12日まで開催;参加者は、
 クラブアワード代表派遣・小野田政弘君。
 個人参加・加藤博君

出席者; 勝又、宝田、藤間、小野田、陣内、菅谷、綾野、藤曲
 高橋敏、加藤 (10名)

今後のイベント情報

◎8月22日(水) 納涼例会は、場所:ラスカ熱海の屋上
 時間:6時30分~となります
 雨天決行です
 ◎9月30日(日) 第41回富士山部 役員会・評議会
 懇親会があります。

2018年 9月 例会担当予告
 例 会 9月26日(水) 会 場 YMCAセンター
 受 付 陣内 康策君 江馬 一君
 司 会 藤間 孝夫君 開会の祈り 菅谷 正君
 ワイズの信条 高橋 四郎君 食前の祈り 鈴木 健之君



2018
 No. 408

国際会長主題 "Yes, We can chage" 『私たちは変えられる』
 東日本区理事主題 『為せば、成る』
 "No challenge, NO fruit"
 今月の聖句 主の鍛錬を軽んじてはいけない。主から懲らしめられても力を落としてはいけない。なぜなら主は愛するものを鍛え、子として受けられるものを皆、鞭打たれるからである。ヘブライ第12章
 アジア地域会長主題 "Action" 『アクション』
 富士山部部長主題 『生き活き!ワクワク!仲間と共に!』
 クラブ会長主題 『奉仕は、元気で仲良く』 "The Service with Lively and Friendly"

2018年 7月 初例会 報告

会長 勝又隆吉
 2018年度グローリークラブの初例会は、KKR ホテル熱海で開催された。菅谷正 Ys の司会で定例 6 時 30 分スタート。例のない厳しい暑さの中、熱海市長 齋藤栄様、をはじめ県議会議員 藤曲敬宏様、東日本区直前理事 栗本治朗様の御来賓、そして本日は富士山部長の公式訪問、渡邊実帆部長も出席された。

恒例によりセレモニーは厳粛のうちに整然と行われた。緊張感あふれる雰囲気の中で第一部は終了。第二部は小野田副会長の食膳の祈り、加藤直前部長の音頭で乾杯が始まり、和気あいあいの進行を深る。そして、富士山部の各主査、各会長のご挨拶を頂き、自らの抱負等を力強く話してくれました。続いて書記報告があり、誕生日・結婚記念日祝を行う。それぞれの該当者には新鮮な美しいお花の贈呈があり、皆様お喜びでした。続いてスマイルの時間になり、私たちクラブの総意で、西日本豪雨災害の義捐金を出席者の皆様におねがいすることにする。現地ではまだまだ復興がままならず、大変苦しい生活を送っている姿を拝見するにつけて少しでもお役にできればとの思いで皆様に一言づつお話を頂きながらスマイルをお願いしました。

お陰様で金 77,000 円の義援金が集まりました。重ねて御礼申し上げます。早速福祉事務所を通じてお見舞いさせていただきました。最後の会長挨拶の中で、私からはメンバーは少なくなったけれど今後は体力に合ったクラブ運営に邁進したいので皆様のご協力をお願いしたいと申しあげました。

2018年度8月納涼例会プログラム

日 時	8月 22日(水)	18:30~21:00
会 場	駅ビルラスカ屋上	
受 付	陣内 康策 君 高橋 四郎 君	
I 部 司 会	高橋 敏雄 君	
会長挨拶・ゲスト・ビジター紹介	会 長	勝又 隆吉 君
書記報告	書 記	宝田 昌孝 君
委員会報告	各委員会	
誕生日・結婚記念日祝	司 会 者	
閉会の言葉	勝又 隆吉 君	
臨時総会	2017年度決算報告承認の件	
II 部 司 会	納涼懇親会	親睦委員会
食前の祈り・乾杯	君	藤井銀次郎
スマイル	会 食	親睦委員会
出席・スマイル・Y基金報告	閉会の言葉	担当委員会
		菅谷 正 君

7 月 例 会 実 績

在籍者 名	(内セニア会員 1名)	スマイル&YMCA 基金	BF 目標 1人 8,000pt
出席者 15名	ゲスト 1名	スマイル 77,000円	現金 pt 切手 P
メーキャップ 名	ビジター 39名	スマイル累計 77,000円	7月 77,000円
出席率 100%	メネット 2名	YMCA 基金 8,067円	累計 77,000円
月訂正出席率 %	出席者合計 名	YMCA 基金累計 8,067円	総計 円

7月例会 写真集

出席総数 57
名の久振りに
賑やかな例会
でした。



今回の義援金
スマイルの
お願いをする
陣内 Y→



←いつもにこやかな
藤間メネットと前原
主査



優しく語る藤井メネ
ット→

73rd Y'sMen (2018. 8. 9~12日)
International Convention Yeosu Korea

副会長 小野田 政弘

8月9日午前4時に起き天気予報を確認しました。台風13号の影響は無いということで6時に予約タクシーにのり YMCA センターで加藤博 Y'sと合流し熱海駅に向かいました。熱海駅で熱海クラブ(栗本、札埜、太川、三井 Y's) 沼津クラブ(渡邊、相磯 Y's)と、合流して合計8名が韓国の麗水(ヨス) 市に向かい始発の新幹線を出発し品川駅で特急エクスプレスに乗り換え国際空港成田第二ターミナルから搭乗しました。2名が手荷物検査で再検査。・・無事に釜山空港に到着。迎いの車がダブリで来てしまいましたが栗本 Y'sの素早い判断で解決して直ぐにヨス会場に向かいました。約2時間半で私達2人の泊まるホテル(Uキャッスルホ



撮影者熱海クラブ太川 Ysを除く熱海クラブ、グローリークラブ、沼津クラブの各氏

テル) にチェックイン、そこからの他の6人が泊まるホテル(ベネチアホテル) に向かいました。空港から車で高速道路を走り約3時間が掛かり到着しました。夜は、夕食後に歓迎パーティーがありました。その時に熱海クラブのIBCヨスクラブのキムジンホさんに招かれて厄介になりました(解散は深夜12時)。

8月10日朝は、ホテルのサービスでスポーツジムのサウナ、浴場、マッサージのある別棟で風呂にはいり、出発タクシーは、約30分で会場に到着約1500円でした。昼食は弁当で駅弁程度の物でした。席は、礼拝堂に丸



テーブルが30席(6人掛け) 場所でした。関係者の話では今回登録者数は、3,100人。14時00から

ヨス水族館(2012年に国際海上博覧会を開催したときに建てられた) を約1時間半急ぎ足で見て回りました。その後16~17時30分ヨス湾のクルージングを楽しみました。舟から降りるときに、小雨が降っていましたがすぐに上がり夕食は18時からとり19時30分から今期の国際会長をされる方のIPSがありお披露目のパーティーがありました。この中に東日本区のクラブ員による歌うプログラムがあり区長、富士山部部長を中心にステージで披露いたしました。最後はYMCAの歌を全員が一つになって歌い終わり閉会となり22時解散となる。

8月11日ホテルで朝食をすませ大浴場に行きホテルからタクシーで30分会場入り、すぐ昼食の弁当を、加藤博君と立派なチャペルのなかで頂きました。

14時から始まる Watching a musical をみるために集合場所に13時に着くと大型バス8台が待機していました。ワイズメンに案内されて乗車して会場のイェルマルに、30分で到着しました。この会場も2012年の国際海上見本市の時に建設された物でした。

ミュージカルの1部は、オーケストラと歌手によるコラボ、2部は韓国で人気のある女性歌手、3部は NANTA という韓国で有名な台所ショーを楽しみました。

16時30分から17時に戻り ETX 新幹線の麗水駅を見学してから夕食の会場にはいりました。今夜は次期 IP 会長のパーティーでした。

その後、麗水クラブのメンバー5名と我々8名で焼肉店で、お別れ会を行い、友情を深めました。

8月12日 11時にベネチアホテルを後にし、無事日本に帰国いたしました。

※ 大会期間中の写真は熱海クラブ太川 Ys の提供です。



新年度初例会訪問記

会報・広報委員長 綾野憲夫

先月号に続き7月後半の富士山部各クラブの初例会訪問の様子を報告します。後半の第一弾は7月18日の下田クラブです。

当日は遠方にもかかわらず6名の参加ということで、大きめの綾野車に相乗りし、3時にセンター出発。下田の街に入ったところで、下田クラブのOB石井純一(万邦自動車経営)さんを見かねました。クラブは退会しておりますが10年来の知己ということで突然の訪問にも関わらず珍しい餡と冷たいお茶で歓迎してくれました。



野中の下田セントラルホテルですが、大正製薬グループで近くに美術館もあります。

下田クラブは白井啓太郎会長の再任で、少人数での頑張りに各クラブからは支援の声が多く聞こえてきました。

続いて7月23日は熱海クラブでした。熱海クラブに



はグローリーからは5名参加。熱海クラブは全国屈指の有力クラブとあって富士山部以外のお客様も多数来訪された。

←東日本区宮内友弥理事

↓国際大会のユースに一人で参加する泉明寺さくやさんを紹介する栗本

前理事

熱海クラブの今期会長はグンと若返って51歳の梅田邦彦さんです。

会長主題は「熱く語り、共に学び、笑顔で参加、団結奉仕」といつも若々しく語りかけています。



「軌跡 丹那トンネル」

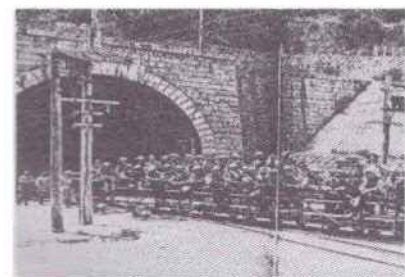
完成までのミステリー 復刻版⑧

丹那トンネルについては、吉村昭著『闇を裂く道』でくわしく読みとることができます。



大量の湧水により工事は難航をきわめ、数回の大事故で六十七人もの尊い人命が失われました。大正十年四月一日の崩壊から八日間、暗闇のなかでカンテラやマッチのわずかな光にお互いの無事を確かめあい、崩れ落ちる岩石で死の恐怖にかられ、流水を飲み、さらには、飢えに耐えきれず、腰に結び付けていた棧俵(米俵の両端を蓋するもので抗夫が休憩するとき座布団の代わりにしていた)の藁を噛みしめ露命をつなぎ、絶望に打ちひしがれる仲間をお互いに励まし合って、無事救出された技師・坑夫十七人。

まさに想像を絶します。本人たちはもとより、ご家族のお喜びはいかばかりでしたでしょうか。



大正七年四月一日に工期七年の予定で開始した工事でしたが、トンネ

ル掘削技術も幼稚であったり、全く予想もしていなかった丹那大断層湧水による大事故、さらに、北伊豆地震などのために十六年もの歳月がかかってしまい、昭和九年十二月一日開通の運びとなりました。

現在は、全長七.八キロメートルを約七分で通り過ぎてしまう丹那トンネルですが、完成に至るまでには、多くの努力と犠牲があったことを決して忘れることはできません。

◎参考文献『闇を裂く道』吉村昭

吉村昭(1927年5月1日~2006年7月31日)

逸話①『海の壁三陸海岸大津波』1987年中公新書版がタイトルを変え「三陸海岸大津波」2004年青春文庫から復刻発刊された。ところが東日本大震災(2011.3.11)が起こると急に本が売れ出したので、夫人で作家の津村節子さんは増刷分の50,000部の印税を復興費用に寄付された。

逸話②2006年2月の膵臓全摘手術の後、三鷹市の自宅で療養中、看病していた長女に「死ぬよ」と言って、みずから点滴の管を抜き、次いで首のカテーテルポートも抜き亡くなった。7月31日午前2時79歳。